



発行 社会福祉法人緑樹会

〒904-0021 沖縄市胡屋7-2-10
電話 098-930-2525(にこにこ)
FAX 098-933-1324
ホームページ <http://www.ryokujukai.or.jp/>
メール info@ryokujukai.or.jp

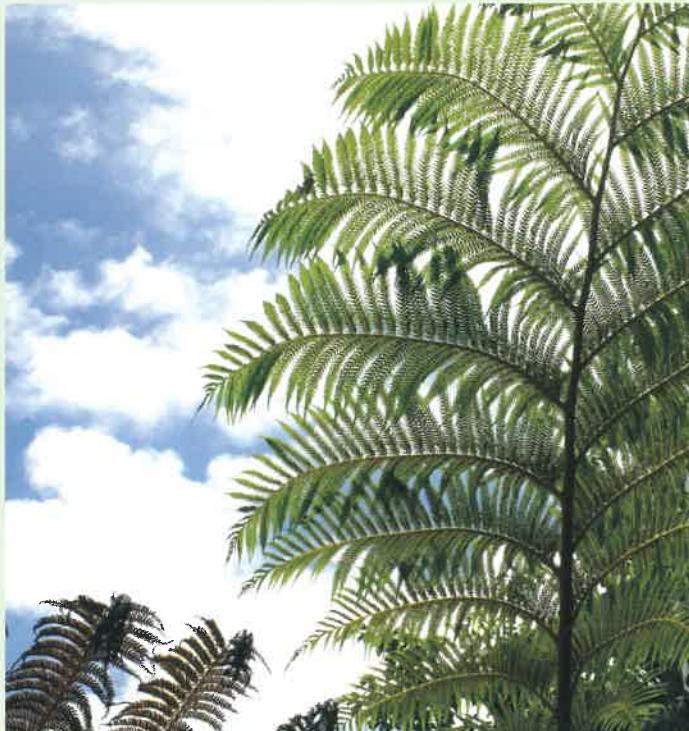


にこにこ情報

竹とんぼ



(写真: 緑樹苑内撮影)



飛行日誌



齢を重ねるにつれ、何時の間に疎遠になってしまった人や亡くなつた人のことを想い出します。

その一人が京都出身で二つ先輩のHさんです。Hさんに出会つたのは四十年前、私が二十五歳の時でした。私たちは慶應大学病院の整形外科病棟で、同室の人院患者として一年近く寝食を共にしたのです。Hさんは海外青年協力隊員としてフィリピンで自動車整備の指導者をしていました。その頃、単車の事故で右脚に大怪我をして、やむなく帰国を余儀なくされたとのことでした。怪我の処置が悪かつたらしく、患部が厄介な菌に感染してしまつて、すでに一年以上も治療を続けていた状況でした。

ある日、Hさんは何度目かの手術を翌日に控え、病院の公衆電話から郷里の母親に「大丈夫やから何も心配いらんつて。直ぐようなる親父にもそう言うてや」と言つっていました。でも実際は、脚の切断にも及びかねない深刻な状況だったのです。本当のことを伝えた方がいいと言ふうに、「歳とつた親に心配させてもしようないやろ」と、Hさんは他人事のように笑つっていました。

それから間もなくして、手術を終えた私の下肢には重い障害が残り、これから的人生にもとても前向きにはなれませんでした。母は私の手術のために上京して、毎日見舞いにきてくれてました。私はそんな母に「もう良くはならない、どうしようもないよ」と、言つたのです。息子の苦悩を一身に受けながら、肩を落として病室を出て行く母の姿を見て、Hさんは私に言いました。「いい歳して、そんな酷いこと言うたらアカンつて。お袋さん泣いておつたよ。お前、何さまと思つておるんや、アホとちがうか」と、いつもとは違う強い口調で叱られました。その時初めて、私は自分の言葉の恐ろしさに気づきました。そして、取り返しのつかない暴言を吐いたことを後悔しました。

冬の到来とともに、Hさんは厄介な菌を抱えたままリハビリ専門病院に転院して行きました。それからしばらくして、Hさんがひよっこり病室を訪ねて来て「来週から仕事でイランに行くんや」と言つて、まるで少年のように瞳を輝かせて笑つていました。

あれから四十年。Hさんは私の中では今も二十八歳の格好いい先輩のままでいます。(富永健)

竹とんぼ

「健康で100歳まで元気に」「年金をいっぱいもらいたい」など、短冊に願いを込めて



織姫と彦星が、短冊に書かれた願い事を紹介。短冊には「いつまでも元気でいい」「お金持ちになりたい」「様々な願いがあり、願い事が叶いますように」と祈りながら、七夕祝い会を終えた。(仲宗根亮)



司会の合図で「織姫」「彦星」が登場すると、会場から一斉に笑い声があがつた。夕会が始まり、司会の久場良樹介護員から、七夕の由来などが説明された。

利用者の皆さん、織姫・彦星と握手をしたり記念写真を撮るなど、満面の笑顔を見せた。



利用者の皆さん、織姫・彦星と握手をしたり記念写真を撮るなど、満面の笑顔を見せた。



七夕

介護老人福祉施設緑樹苑

緑樹苑デイサービスセンター

7月7日(土)、緑樹苑デイサービスセンターでは七夕会が行われた。

比嘉樹主任の司会進行で始まり、利用者の皆さんの中に鮮やかな装いの織姫様・彦星様が登場すると、ホール内から笑いが起き、利用者の皆さん、拍手をしながら笑顔で出迎えた。

織姫様・彦星様と利用者の皆さんで短冊に書いた願い事が紹介された。「健康で100歳まで元気になりますように」「健康で年金がいっぱいもらえますように」など、紹介されるたびに会場は笑い声に包まれた。

参加者全員で七夕の歌を歌つたあと、職員による三線演奏が始まり、利用者も曲に合わせて太鼓演奏に参加。最後は恒例のカチャーシーで会場はさらに盛り上がった。

利用者から感謝の言葉があり、皆さん終始笑顔で七夕会を楽しんでいた。(安里和美)

お父さん達に感謝の気持ちを込めて「父の日祝い会」



青年会による力強い勇壮な演舞に、利用者の皆さんから大きな歓声があがり、会場は盛り上がった。中には、普段あまり感情を顔に出さない方が、感動で涙を流す場面もあった。

最後は、中の町青年会の皆さんも一緒にカチャーシーを踊り、父の日祝い会はお開きとなつた。(仲宗根亮)



職員による余興では、「安里屋ユンタ」の踊りが披露されたほか、職員が手作りしたハーリー船による競漕も行われた。利用者の皆さん、ジユースやケーキを食べながら、ハーリー船による競漕も行われた。

利用者の皆さん、ジユースやケーキを食べながら、ハーリー船による競漕も行われた。

6月14日(木)、緑樹苑では父の日祝い会が行われた。兼城施設長の挨拶のあと、男性利用者にプレゼントが贈られた。また、利用者の金城竹子さんが、お父さん達に��拶を述べた。

余興では、中の町青年会によるエイサーが披露された。中の町青年会に所属する緑樹苑の職員の働きかけで、今回の父の日祝い会に、ボランティアでエイサーを披露してくれることになった。

司会のあいさつの後、利用者を代表して比嘉寛幸さんが「父の日を祝つて、これからも皆さんが健康で幸福な生活を送つていくことを願つて、乾杯!!」とあいさつした。

また、利用者の興座フミさんが「久高万寿主」を歌い、それに合わせて他の利用者の皆さんも手拍子をしながら歌うなど、会場は盛り上がつた。

職員による余興では、「安里屋ユンタ」の踊りが披露されたほか、職員が手作りしたハーリー船による競漕も行われた。

利用者の皆さん、ジユースやケーキを食べながら、ハーリー船による競漕も行われた。

男性利用者の皆さんに花がプレゼントされ、最後は、参加者全員でカチャーシーを踊り、楽しい父の日祝い会を締めくくつた。(神田司)



竹とんぼ



今度の収穫祭は、前回のジャガイモの後に植えたトウモロコシです！みんなで種から植えたトウモロコシはあっという間に子ども達の背丈を追い越し、大きく成長しました。

トウモロコシの収穫はみんな初めてで、取り方を教わり収穫開始。実も大きく成長し、自分達の顔よりも大きな立派なトウモロコシが収穫できました。

収穫したトウモロコシはみんなで持ち帰り、さっそくその日に食べた子は次の日「とっても美味しかった！」と笑顔で教えてくれました。

いつも自分達が食べているものは、どのように育ってどのように収穫され自分達のお腹の中に入っていくのか。それを知ること、学ぶことは子ども達の心の実りにもつながるのではないかと思います。

竹とんぼ

キュウリ・ゴーヤー シブイ(冬瓜)など 夏野菜を収穫・調理 緑樹苑サービスセンター



立派に成長した野菜に、利用者の皆さん、活き生きとした表情で会話も弾みました。杖を忘れるほどしっかりと足取りで収穫しました。

収穫した野菜は、利用者の皆さんで手分けして調理し、和え物やンブサーやなどを作った。

出来上がった料理を皆さんで美味しく食べながら、満足そうに笑顔を見せていました。

(森山亜紀)



安全衛生講座「食中毒について」衛生・感染対策の勉強会を実施



講師の嘉手苅秀樹氏(株式会社つねひで産業代表取締役社長)

講座では、食中毒の原因となる細菌とウイルスの違いや食中毒の定義、細菌を増やさないための取り組みなどのほか、測定器を使用して手洗い後の汚れ度合いを確認した。測定した結果、予想以上に汚れが残っていたことに職員からは驚きの声が上がった。

梅雨から夏の季節にかけて、注意が必要な『食中毒』について、職員の意識を高めることを目的に安全衛生講座が5月23日(水)、緑樹苑会議室で行われた。

その後、改めて、正しい手の洗い方や食中毒予防のポイントの説明などが行われ、衛生に関する理解を深めた。(谷光江)



親指のまわり、指先、指のあいだは要注意！
手洗いミスの発生部位
手背 手掌
頻度が高い 頻度がやや高い



8月行事・活動予定

	介護老人福祉施設緑樹苑	ケアハウスはいびすかす	ケアハウスていんさぐぬ花	緑樹苑ティーサービスセンター	みどり学童クラブ
1(水)		ミニシアター	輪投げ		
2(木)		カラオケクラブ	ボウリング	ハンドマッサージ	
3(金)	総合防災訓練(消防立会い)		歌会	手芸クラブ	
4(土)			手工芸		園外活動
5(日)			カラオケ		
6(月)		民舞クラブ	スカッシュボール		
7(火)			映写会	夏まつり会	
8(水)		防災訓練	輪投げ		
9(木)		手作りおやつ会	防災訓練	防災訓練	遠足(プール)
10(金)	夏まつり		歌会・塗り絵クラブ	手芸クラブ・手作りおやつ会・三板	
11(土)			手工芸		学童休園日
12(日)			カラオケ		
13(月)		書道クラブ	スカッシュボール		
14(火)		三板クラブ	映写会・三板クラブ	誕生会	
15(水)		ミニシアター	輪投げ	カフェタイム	
16(木)		カラオケクラブ・美化活動	ボウリング		遠足(工場見学)
17(金)		手芸クラブ	誕生会	手芸クラブ	
18(土)			手工芸		読み聞かせ
19(日)			カラオケ		
20(月)		お茶会	スカッシュボール		
21(火)		ミニドライブ	映写会		
22(水)		防災訓練	輪投げ	防災訓練	遠足(こどもの国)
23(木)		散髪・民舞クラブ	散髪		
24(金)	旧盆エイサー	誕生会	塗り絵クラブ・旧盆エイサー	手芸クラブ・三板	
25(土)			手工芸		園外活動
26(日)			カラオケ		
27(月)		書道クラブ	スカッシュボール		
28(火)		三板クラブ	映写会・三板クラブ		
29(水)			輪投げ		
30(木)			ボウリング		
31(金)	誕生会		歌会	手芸クラブ	

緑樹会のホームページから
竹とんぼをご覧いただけます。



または
インターネット検索で

緑樹会 竹とんぼ

検索

みどり学童クラブでは「体験」を重視しています。トウモロコシの収穫では、自分たちの手で栽培し、収穫することで、その成長過程を知り、食物の有難さや慈しむ心が育まれることだと思います。
キッズサポート養成講座では、高齢者の疑似体験や実際に車イスを押すことで、自ら感じ気づくことで、相手を思いやる心が育まれることでしょう。
教科書に書いてあることだけじゃ分からぬ大切な物がきっと、ここにあるはずさ。
〔島んちゅぬ宝〕引用(砂川智規)

編集後記

（金員の部）
與儀清春様
（ボランティアの部）
胡屋老人クラブ寿会様
中の町青年会様

（平成三十年六月一日～六月三十日）

感謝録

温かい御支援、御協力下さいまし
た方々に、厚く御礼申し上げます。